



学校教育目標

# 自ら学ぶ子

「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

6月号 令和5年6月1日



## 浦島小の顔として

学校 Web ページへ 修学旅行の様子もカラーで掲載しています。

校長 藁科 直希

学校教育目標の「自ら学ぶ子」が育つ、次のような学校を目指しています。「うらしま」にちなんで、

- ① えをめざして (課題解決能力 挑戦)
- ② 自分らしく あなたらしく (自己肯定感 共生 尊重)
- ③ あわせいっぱい (自分の幸せ みんなの幸せ)
- ④ まなび合い 認め合い 高め合う 笑顔あふれる 学幸

6年生が鎌倉、箱根修学旅行に行ってきました。浦島小の顔として、公共のマナーに気をつけて行動する姿や歴史的、芸術的に価値のあるものなどに触れ感動する姿、そして、グループの仲間と合意形成を図りながら協力して活動する姿、仲間と互いのよさを認め合う姿、学年全体でよりよいものを創り出そうとする姿など、6年生の素晴らしい姿がたくさん見られました。

鎌倉においては、事前に子どもたちが見学のプランをいくつか立てました。たくさんのプランから時間や安全面を考慮したうえで、子どもたちの投票で4つのプランに絞りました。各自が自分の行きたいプランを決め、学級の枠を超えてグループを編成しました。見学中にも、寺の見学をじっくりしたい児童と買い物をしたい児童が折り合いをつけていく場面に出くわしました。

小田原城では、学級の班でグループを組み、箱根彫刻の森美術館では、ホテルの生活班をベースにグループをつくりました。それぞれの場所においても、グループのメンバーで合意形成を図りながら見学していました。また、キャンプファイヤーでは、「笑顔」「一体感」「仲間」をテーマに、学級の枠を超えて学年全体でゲームやダンスを全力で楽しみ、一体感を味わうことができました。バスの中では、バスレク係を中心にレクが行われました。レクの中で自分や学級、学校、担任のよいところなどが発表され、とても温かい気持ちになりました。子どもたちの修学旅行の振り返りには、「本気でチャレンジができた。みんなで考えを伝え合ってよりよい方向を考えることができました。相手の気持ちを考えて行動できた。メリハリをつけることができた。協力できた。友達の良いところが見つけられた。みんなで楽しむことができた」などと書かれていました。上の「うらしま」であらわした姿が体現されていたことが分かります。

6年生には、修学旅行での学びを今後の生活に生かしてほしいと願っています。また、学校全体として、上に掲げた力が子どもたちに育つよう教育活動を一つ一つ着実に進めてまいります。